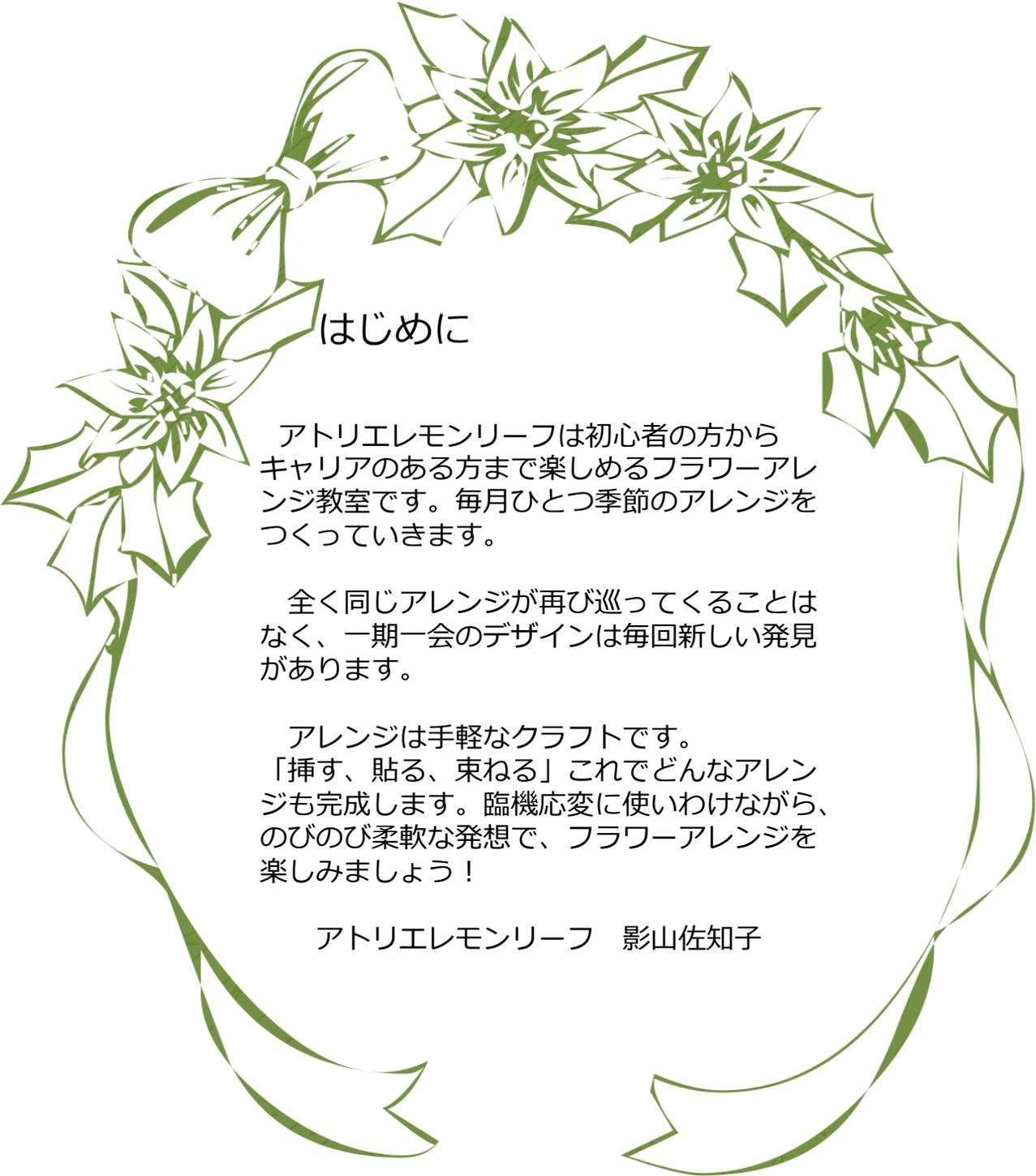




*Flower Arrangement
Lesson*





はじめに

アトリエレモンリーフは初心者の方からキャリアのある方まで楽しめるフラワーアレンジ教室です。毎月ひとつ季節のアレンジをつくっていきます。

全く同じアレンジが再び巡ってくることはなく、一期一会のデザインは毎回新しい発見があります。

アレンジは手軽なクラフトです。「挿す、貼る、束ねる」これでどんなアレンジも完成します。臨機応変に使いわけながら、のびのび柔軟な発想で、フラワーアレンジを楽しみましょう！

アトリエレモンリーフ 影山佐知子



レッスンの構成について

アトリエレモンリーフでは毎月新しいデザインのアレンジをつくります。約2年で一通りのデザインバリエーションを一巡しますが、(順不同)同じものが再び巡ってくることはありません。毎月の新しいデザインは、長く続けてくださる方にも御好評いただいております。

アレンジの使用素材はドライ、アーティフィシャル、プリザーブドなど多岐にわたり使用。癒し系のグリーンアイテム(多肉植物や葉物)も楽しめるのが特長です。花材ごとの扱い方はもちろん、場面、形状に応じた組み立て方、ワイヤリングテーピングの手法を習得できます。

本書は10のニーズカテゴリー分かれています。毎月お配りするレシピ(作り方)を該当するカテゴリーにファイルしましょう。回を追うごとにレシピがふえていくので、スキルアップが目で把握できます。集めたファイルは、アレンジメントをつくる時の強い味方になります。

修了証について

定期のご参加の方で、毎月レッスンを受講され、基本のデザインを制作を修了されると、アトリエレモンリーフ修了証[ディプロマ]を無料で発行しています。約2年~2年半かかります。欠席は1年に1回まで。2回になりますと単発参加にきりかわりますので、できるだけお振替えをおすすめいたします。

アトリエレモンリーフの認定校として活動するためには認定証が必要です。上記の修了証をお持ちの方が対象で、すべてのデザインバリエーションを習得された方に発行します。教室運営のセミナーも御用意しておりますので安心してスタートしていただけます。認定証発行は別途費用がかかります。随時ご相談ください。



一人で作れるようになる「花ドリル」

レッスンには二つの楽しさがあります。ひとつは教室で、お花好きな仲間と集い、作品を鑑賞しあえる楽しさです。そしてもうひとつは、おひとりで自在に作れるようになる楽しさです。

本書にはそんな一人でつくる場面をご利用いただけるようにつくりました。ところどころのポイントが_____で書いてあります。空欄をご自身でうめてみましょう。答えはひみつの場所に。

手元の花器を生かしたい! わが家のこの場所に飾りたい、メインの花だけを入れ替えたいなど、本来花のニーズはケースバイケース。そんなときもポイントがすぐ思い出せると、一人で楽しくフリースタイルアレンジが作れます。

Arrangement Menu

どのアレンジも共通して、最初にステキ！と感じるポイントは_____です。見たときの印象が決まりますね。その「ステキ」を際立たせるのは_____と表情です。そのために花材の高低や_____で変化をつけましょう。アレンジは難しく考える必要はありません。3つの工程 挿す、貼る、_____を場面に応じて使い分け！そのコツを学びましょう。

NO	ニーズカテゴリー	デザインバリエーション (下線のアレンジは重要な基本アレンジです)
1	花材を束ねた壁掛けアレンジを作りたい	<u>ストレートスワッグ</u> 水平スワッグ バーティカル(垂直)スワッグ クレセント(三日月型)スワッグ
2	リースやスクエアの壁掛けアレンジを作りたい	<u>1~3ポイントタイプ</u> or <u>オールラウンドタイプ</u> フレームタイトアップアレンジ
3	器のアレンジを作りたい	<u>テラコッタ</u> or <u>陶器</u> ガラス、BOX ブリキ <u>かご</u> 個性的な特徴のある器 キャンドルスタンド
4	カタチが自在の網状のアレンジを作りたい	<u>ガーランド</u> or <u>花冠</u>
5	ブーケを作りたい	<u>ワイヤリングブーケ</u> or <u>コサージュ</u> ホルダーに挿すタイプのブーケ クラッチブーケ
6	球体などフォームでカタチを作りたい	<u>ボールブーケ</u> 、 <u>バックブーケ</u> <u>トピアリー</u> (丸 三角 ハートなど)
7	額の中やボードにアレンジしたい	<u>ボードアレンジ</u> リーフインテリア 花受けつき絵画アレンジ
8	器がいない自立するアレンジをつくりたい	<u>パニエ</u> センターピース バンドルアレンジ
9	その他 個性的なアレンジをつくりたい	小物をつかった物語性のあるアレンジ 異素材とのコラボ メリアアレンジ、キャラクターズボックスなど
10	花合わせ・色合わせをしたい	綺麗な色合わせの基本の法則 3W グラディエーションorホワイトの使い方 花材店への課外レッスン



1 花材を束ねた壁掛けアレンジを作りたい

ストレートスワッグ 水平スワッグ
パーティカルスワッグなど

デザインをきめる3ステップ

ベース（背景）には先端が綺麗な花材を選ぶ
メイン花材はキュッとグルーピングか、S字ラインをイメージ。
横から見て高さ、ボリューム（立体感）をつける

素敵に作るコツとポイント

スワッグは花材をフルに使うことが多く コストパフォーマンスに優れています。仕上がりが大ぶりなので、大作感のあるものが作れます。

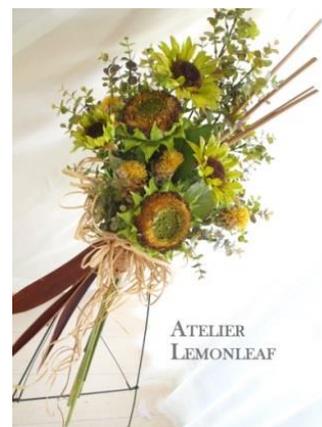
ストレートスワッグ_____の美しさが大切です。トップになる花材をよくみて選びましょう。

花材を重ねてはとめて作る行程で、どうしても花材がずれてしまうこともあります。そんなときはテープを巻いてその上からワイヤーをかけるか、テーピングしたワイヤーでとめながら作ってみましょう。花材をキープしやすくなります。

立体的にするために_____の花材をとっておきましょう。_____部分を追加することで全体の安定感がうまれます。

水平スワッグは木などで、ベース組んだあと、基本的にグルーでつけていきますが、不安定な個所には_____を添え木のように挟み込むと安定します。

パーティカルスワッグは人の目は横動きはスムーズですが、縦の動きは苦手です。バランスをみながら、7割くらいまでは_____にして仕上げに_____すると綺麗にできます。





2 リースやスクエアの壁掛けを作りたい

1～3ポイントタイプ オールラウンドタイプ

デザインを決める3ステップ

葉など流れのあるものにするか、アジサイなどマットなタイプにするかをきめる。
メイン花材はワンポイントか、数個で対角に置く
リボンは存在感があるので、つける場所と雰囲気を考えて

素敵キに作るコツとポイント

リースはナチュラル感がステキなので、測ったように丸くなる必要はありません。ただ外円と内円のバランスは重要で、特に_____のシルエットが綺麗にできると全体がまとまってステキに見えます。

表面だけでなく_____と_____にも、花材を入れましょう、リースのグレードは_____からみるとよくわかります。

メインの花を使うフォーカルポイントは流れにそって1個～数個_____にいれてみましょう。

同じ種類の花が並ぶときは_____をかえたり、_____をつけて、立体的にみせましょう

葉素材ベースのリースは花材は流れにそって入れ、_____を上下左右につくると引き締まり輪郭も際立ちます。内側の円にかかるような花材もいれて_____をだしましょう。しっかりしているものは_____として使い、_____をつくる花材とは使い分けましょう。

アジサイのような、マットなベースはメリハリを_____で表現するので、全体の出来上がりがイメージをつかんでから付けましょう



答え:内円 サイド 内側 横 対角、角度 高さ とがり、動き 線 ベース 色

ご覧いただきありがとうございました。
サンプルはここまでです。

アトリエレモンリーフ「花ドリル」

全16ページ 用語集付き。